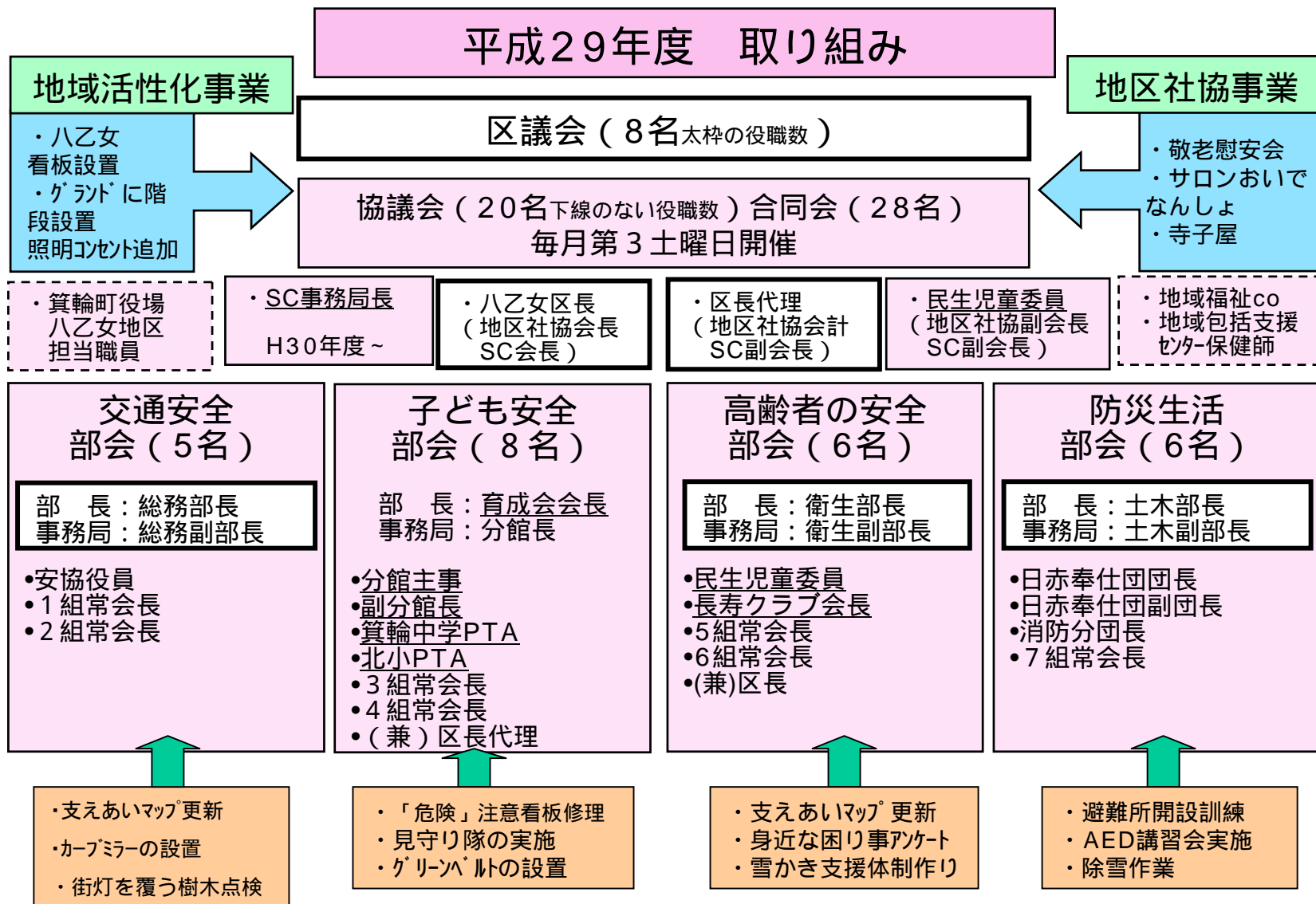


# 八乙女区と八乙女セーフコミュニティ(YSC)の関わり



# 平成30年度 八乙女区とYSCの取り組み

小地域	お互い様（向こう三軒両隣）の精神を定着させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事、寺子屋、区史を通じて区の習わしを後世に伝える。</li> <li>・今後も気軽に困り事を発信できるよう顔を合わす集まりを増やしていく。幅広い年代で楽しめる内容を検討。</li> </ul>
場づくり	自分たちの問題としてとらえ、みんなで考える場がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な困り事を把握するアンケートの取り直しを、毎年1月に行い、支援者と協力者を把握する。</li> <li>・八乙女のシンボル水路橋の保存について検討する。</li> </ul>
仕組み	地区のなかで、支えあう仕組みがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度は雪かきを手始めに進めたが、問題点はその都度検討し、定例化した流れを確立する。</li> <li>・災害時支えあいマップを平常時に活用していく為に、総務と高齢者の安全部会の連携を密にして運用する。</li> </ul>
話せる	困った時に相談できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉活動推進員を常会長に委嘱し、身近な相談者として意識付けを行う。現在、高齢者の安全部会が相談窓口。今後は、事務局も対応をする。</li> </ul>
再構築	継続性のある組織づくりを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YSCの事務局長を任期2年で選任。会議の効率化、役員の負担軽減を図りながらも継続性のある組織作りを目指す。生活・介護支援サポーターの協力も検討する。</li> </ul>
拠点作り	活動の場（拠点）をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化事業において、環境整備に取り組む。</li> <li>・地区社協の事業を部会で取り組む。</li> </ul>
連携	行政、町社協との連携を密にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会に町の担当者と社協の担当者が出席する。</li> </ul>
意識	住民全員が地区社協、YSCメンバーの意識をもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みを広報で丁寧にわかりやすく行う。</li> </ul>